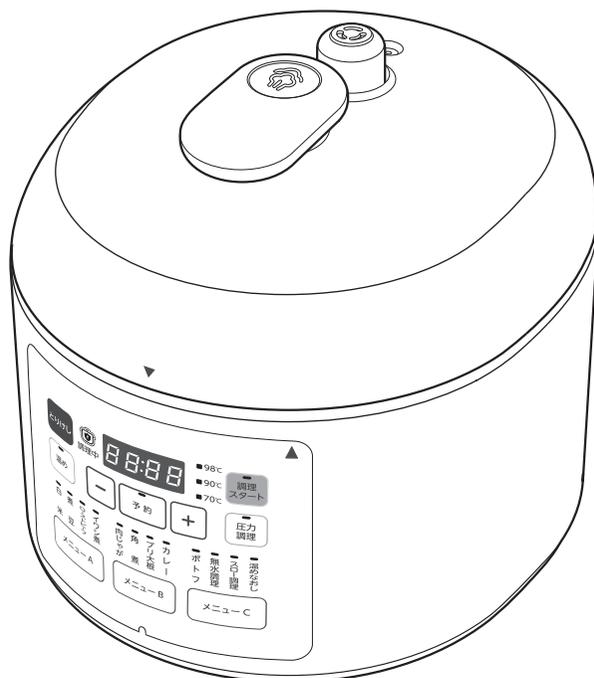


電気圧力鍋

品番：SPC201WH

取扱説明書



この度は、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

電気圧力鍋は、内部が高圧になるため取り扱いを誤ると危険です。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

- | | | | | |
|--------------------|---------------|------------|---------------|-------|
| ●安全上の注意 | 2~4 | ●使用方法 | 自動メニュー【温めなおし】 | 19 |
| ●使用上の注意 | 5~6 | ●使用方法 | 【圧力調理】 | 20~21 |
| ●やむを得ず早くフタを開けたいときは | 6 | ●使用方法 | 【温め調理】 | 22~23 |
| ●各部の名称 | 7~8 | ●使用方法 | 【自動保温について】 | 24 |
| ●圧力調理のコツ | 9 | ●使用方法 | 【予約の設定】 | 25~26 |
| ●使用前に準備すること | 9 | ●お手入れ方法 | | 27~28 |
| ●設定時間や調理の目安 | 10 | ●故障かなと思ったら | | 29~30 |
| ●使用方法 | 【基本の使い方】 | ●仕様 | | 31 |
| ●使用方法 | 自動メニュー【白米】 | ●アフターサービス | | 32 |
| ●使用方法 | 自動メニュー【各メニュー】 | ●保証書 | | 32 |
| ●使用方法 | 自動メニュー【スロー調理】 | | | |

安全上の注意

必ず守ってください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示の説明



警告

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の例



禁止

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



指示

●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



注意

△は、警告・注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告



電源プラグや電源コードを交換したり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない

- 火災や感電の原因になります。
- 傷んだプラグやコードが破損したときは直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にお問合わせください。

電源プラグは根元まで確実に差し込み、ゆるんだコンセントは使わない

- 差し込みが不完全だと、漏電や加熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電やケガの原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない

- タコ足配線などで定格を超えると発熱し、発火・感電などの原因になります。

交流100V以外では使わない

- 異常過熱や故障の原因になります。

電源プラグ先端にピンやゴミを付着させない

- 感電したり、異常動作してケガの原因になります。

本体を持ち運ぶときにフタ取っ手を持たない

- フタが開き、ケガをする恐れがあります。

不安定な場所や、熱に弱いテーブルなどで使用しない

- じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上でも使用しないでください。熱で変形・変色や火災の原因になります。

乳幼児に電源プラグをなめさせない

- ケガや感電の原因になります。

警告

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

- 湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

使用しないときは電源プラグを抜く

- 絶縁劣化による感電や漏電火災、ケガの原因になります。

お手入れの際は、電源プラグを抜き、必ず本体が冷めてからおこなう

- 感電ややけどの原因になります。
(使用直後は本体や内なべが熱くなっています)

電源プラグを抜くときは、コードを持たず電源プラグをもって抜く

- 感電やショートによる火災の原因になります。

使用中、電源コードや電源プラグが異常に熱くなったり、本体から煙や異常なおいが出るようなときは、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にお問い合わせください

- 傷んだプラグやコードは絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。

加圧中は、絶対にフタを開けない

- 高温の蒸気が噴き出し、やけどやケガの原因になります。

修理技術者以外は、絶対に分解、修理、改造をおこなわない

- 発火したり、異常動作して、ケガや火災の原因になります。

取り扱いに不慣れな方やこどもだけで使用させたりしない 幼児の手の届くところで使用しない

- やけど、ケガ、感電の原因になります。

すき間にピンや針金などの金属物や異物を入れない

- 異常動作して、ケガや感電の原因になります。

調理中・加圧中にフタを開けない。圧力表示ピンやおもりに触れない

- やけどの原因になります。

蒸気口やおもり、圧力表示ピンに手や顔を近づけない、手を触れない

- やけどの原因になります。
とくに乳幼児や小さなお子様には、触らせないように十分注意してください。

本体を水に浸けたり、水をかけたりしない

- 感電、ショートによる火災の原因になります。

フタを開けるときは、蒸気や熱い水滴に注意する

- やけどのおそれがあります。

専用の内なべ以外は絶対に使わない

- 過熱、異常動作によるやけどやケガの原因になります。

⚠ 注意

空焚きをしない

- 過熱、異常動作によるやけどやケガの原因になります。

コンセントに差した電源プラグに蒸気をあてない (コンセント付き食器棚などでお使いの場合)

- 感電、ショートによる発火の原因になります。

使用中や使用後しばらくは本体の高温部を触らない

- フタを開けるときはやけどの恐れがありますのでミトン等を使用し、蒸気に注意してください
- 内なべに触らないように注意してください。やけどの恐れがあります。

内なべを火にかけたり、電子レンジで加熱したり、IH調理器など他の熱源に使用しない

- やけどや故障の原因になります。

屋外で使用しない

- 屋内だけで使用してください。

壁や家具の近くで使わない

- 蒸気や熱で家具を傷め、変色、変形の原因になります。
- キッチン用収納などで使うときは、中に蒸気がこもらないようにしてください。

不安定な場所や、熱に弱い敷物の上では使用しない

- 転倒によるやけどやケガ、火災の原因になります。

使用後しばらくは、本体内側の熱板にふれない

- やけどの原因になります。

センサー(本体の内底部)に衝撃を与えない

- 損傷した場合そのまま使うと、過熱や異常動作、感電の原因になります。

カレーやシチューなどの粘性の強い料理はルウを入れた後は加圧しない

- カレーやシチューにルウを入れて圧力調理すると、ルウがノズルなどに入り込み、圧力調整がうまくできなくなる恐れがあります。

多量の油や重そうなど、急激に熱反応して発泡するものは使わない

- やけど・ケガをするおそれがあります。

調理以外の目的で使用しない

- 故障の原因になります。

天ぷらなど、揚げ物調理に使用しない

- 過熱により、発火するおそれがあります。

使用後、フタを開けるときは内圧を下げてからフタを開けてください

- 調理が終わった後も、内なべの中には圧力が残っています。
内なべの中に少しでも圧力が残っている状態でフタを開けようとするとフタが飛んだり内容物が噴き出てやけど・ケガをするおそれがあります。

本体をスライドテーブルに置くときは荷重限度を確認する

- 落下すると、やけどやケガの原因になります。

移動時はフタを持たず、本体底部の左右持ち手部分に手を添えて移動してください

- 鍋が落下して、やけど・ケガ、故障の原因になります。

使用上の注意

- 初めて使用するときや長期間保管後使用するときは、フタ・フタパッキン・内なべ・おもり・圧力表示ピン・圧力表示ピンパッキンを水洗いして十分に乾燥させてください。
- 本体と内なべの間に、絶対に水を入れないでください。
- 本体・電源コードを丸洗いや、本体内部や底部に水を入れたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。
- 内なべの外側やヒーター、温度センサーに付いた米粒や異物は、必ず取り除いてください。故障の原因になります。
- 別の調理鍋などを本体に入れて使わないでください。故障の原因になります。
- センサーの誤検知を防ぐために調味液は合わせてよく溶かしてから入れてください。
- 油脂分の多い食材を大量に調理する場合は一度下茹でをして油脂分を落としてから調理してください。
- 圧力を安全に逃がすことができず、フタが外れて飛び出すおそれがあります。
 - ・圧力調理時、フタを確実に閉めていない。
 - ・おもりやノズル、圧力表示ピンが穴詰まりしている。
 - ・フタパッキンが痛んでいる
 - ・材料がフタパッキン取付け部やフタパッキンの上ののっている。
 - ・蒸気排出部分に異物が詰まるなどして動作しない。
- 内なべのフッ素加工を長持ちさせるために
 - ・泡立て器や金属製の用具などかたいものを使用しない。
 - ・食器類を入れるなど調理以外の目的で使用しない。
 - ・炊飯時、無洗米以外を保温しない。
 - ・酢を使用しない(酢飯など)
 - ・かたいスポンジやたわしなどで洗わない。
 - ・洗米しない(洗米は別の容器でおこなう)
- 食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。変形する恐れがあります。
- 取り扱いには丁寧にしてください。落としたり強い衝撃を加えたりすると、ケガや故障の原因になります。
- 次のような場所では使用しないでください。変形や跡が付いたり、焦げたり、故障・感電・火災の原因になります。
 - ・ビニール製などの熱に弱いテーブルクロスの上
 - ・たたみ、じゅうたんなどの上
 - ・熱に弱いテーブルやワゴンの上
 - ・カーテンなどの近く
 - ・不安定な場所

使用上の注意

- 内なべ容量の2/3以上の内容物を入れて使用しないでください。特に、豆類麺類などの調理中に膨張するものや、お粥のように泡が出やすいものは、1/3以上の内容物を入れて使用しないでください。うまく調理できなかつたり、故障の原因になります。
- 調理中は本体を移動させないでください。やけどなどの原因になります。
- 使い始めは樹脂や金属においがする場合があります。ご使用とともに少なくなります。
- 機能、性能を維持するため本体には通気口を設けてありますが、この穴からホコリや虫が入ると故障の原因になります。本体や本体の周りは清潔にしてください。
- 内なべが変形や腐食した場合は、お買い上げの販売店または弊社お客様相談窓口までお問い合わせください。

やむを得ず早くフタを開けたいときは

圧力表示ピンが自然に下がる前にフタ開けたいときは、以下の手順で必ず蒸気を抜いてからフタを開けてください。

⚠ 警告

- 加圧中は、絶対にフタを開けない
高温の蒸気が噴き出し、やけどやケガの原因になります。

⚠ 注意

- 圧力調理中や炊飯中は、絶対にフタを開けない
- 周りに人やペットがいないことを必ず確認する
高温の蒸気が噴き出し、やけどやケガの原因になります。

①必ずとりけしボタンをタッチしてください。

②軽くぬらしたタオルを、おもりを覆うようにフタの上にかぶせます。

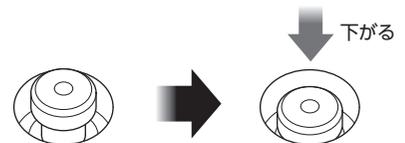
③手にミトンなどをはめ、タオルの上からゆっくりと少しずつ排気ボタンを押ししてください。

※おもりの上から蒸気がふき出すため、必ずゆっくりと少しずつ段階的にボタンを押ししてください。

※水分が多い料理の場合は、おもりや圧力表示ピンの周りから調理物が噴き出すことがあります。

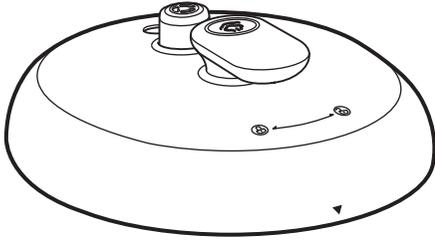
④蒸気が出なくなったらタオルを取り、圧力表示ピンが下がっていることを確認してから、フタを開けてください。

※タオルが熱くなっていますので、やけどにご注意ください。

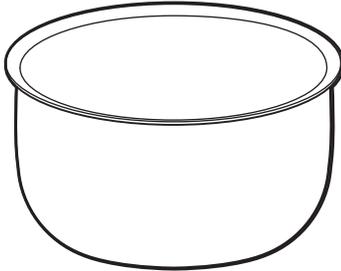


各部の名称

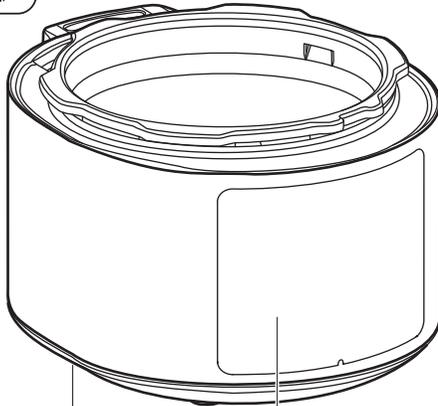
フタ



内なべ



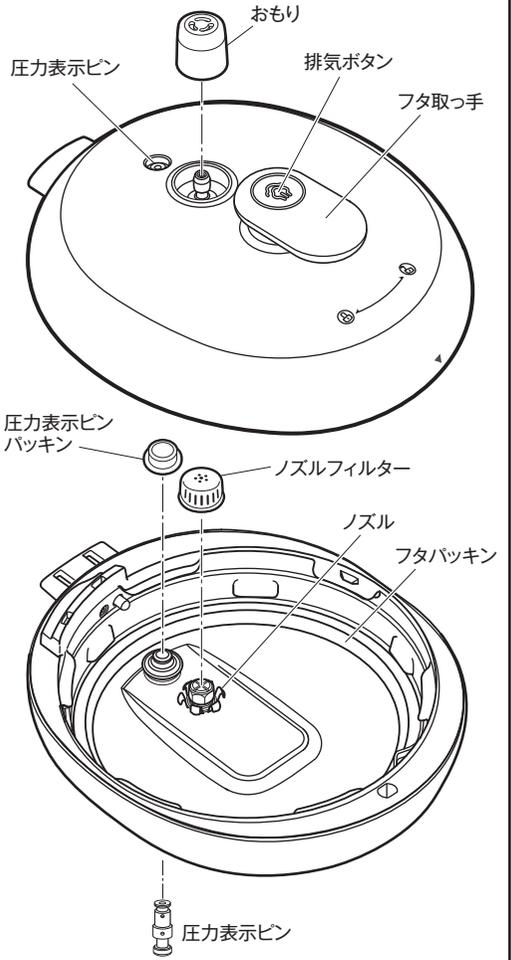
本体



持ち手
(左右にあり)

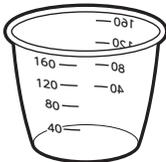
操作パネル

■フタ各部名称



付属品

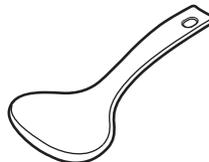
計量カップ



しゃもじ



おたま

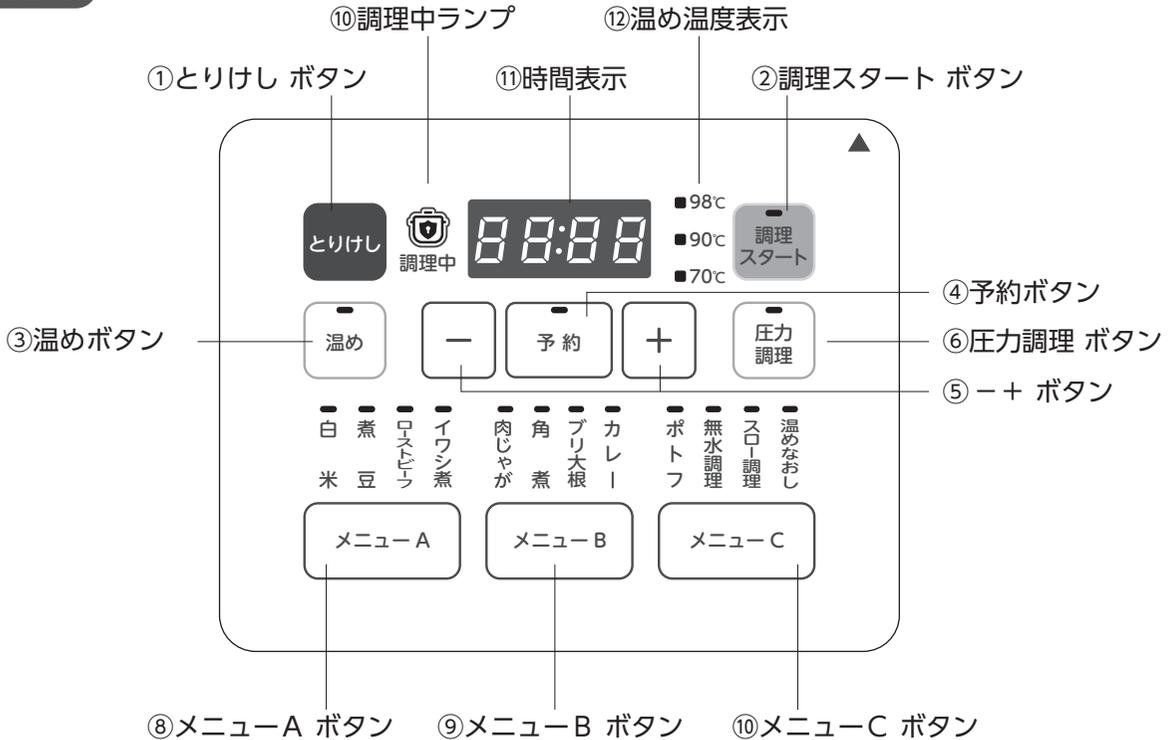


レシピブック



各部の名称

操作部



① とりけし ボタン

調理や予約の中断、メニュー選択など途中の操作を取り消します。

② 調理スタート ボタン

調理を開始します。

③ 温め ボタン

温め温度が選択できます。

④ 予約 ボタン

調理終了までの時間を予約します。(2~12時間)

⑤ - + ボタン

温め・予約・圧力調理の時間設定、メニューA~Cの調理時間を調節できます。

⑥ 圧力調理 ボタン

お好みの時間設定で圧力調理します。

⑦ メニュー-A ボタン

メニューを選び、選択されたメニューが点灯します。

⑧ メニュー-B ボタン

メニューを選び、選択されたメニューが点灯します。

⑨ メニュー-C ボタン

メニューを選び、選択されたメニューが点灯します。

⑩ 調理中ランプ

調理中は点灯し、調理中であることをお知らせします。

⑪ 時間表示

予約時間、残り時間、経過時間を表示します。

⑫ 温め温度表示

「温め」ボタンで設定した温め温度を表示します。

圧力調理のコツ

■料理をうまく仕上げるには

- ・調味料や調味液はあらかじめしっかりとかき混ぜてください。
- ・材料は種類ごとに同じ大きさに切ってください。
- ・違う種類の材料を一緒に調理する場合は、火の通りやすい材料は大きめに、火の通りにくい材料は小さめにしてください。
- ・味付けは薄めにして、圧力調理後の保温時間で味を調べてください。
- ・煮汁は調理中にほとんど減りません。控えめの量にしてください。

■調理にかかる時間

圧力調理には、3つの工程があります。

圧力を上げる

加熱がスタートし、圧力が上がり始めるまでの時間(材料の種類や量などによって異なります。)

加圧時間 設定時間

設定された時間だけ圧力調理を行います。

圧力を下げる(蒸らし)

100℃以下になるまで温度を下げ、内部の圧力を下げる時間
(材料の種類や量などによって異なります。)

※自動メニューでは、あらかじめ設定された時間で加圧されます。

※「設定時間」は、内部の圧力が一定まで上がってから調理時間を示します。

※圧力が上がるまで、時間は表示されませんが故障ではありません。



使用前に準備すること

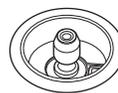
①フタのノズル、ノズルフィルターの目詰まりをチェック

穴が詰まっていれば竹ぐしやつまようじなどで取り除いてください。

※ノズルは取り外せません。

無理に取り外そうとすると故障の原因になります

注)ノズルが目詰まりしていると圧力を安全に逃がすことができず、けがややけどの原因になります



ノズル上側



ノズル下側



ノズルフィルター

②圧力表示ピンの目詰まりをチェック

穴が詰まっていればつまようじなどで取り除いてください。

縦穴と横穴をチェックしてください。



③おもりの目詰まりをチェック

穴が詰まっていれば竹ぐしやつまようじなどで取り除いてください。



④排気ボタンの動作をチェック

押すとおもりが上下動するか確認してください。



設定時間や調理の目安

設定時間は、以下の表を目安に、お好みで調節してください。

		圧力	ふた	圧力おもり	初期設定時間	設定可能時間	予約可能時間	調理終了後の保温時間 *4
メニューA	白米	あり	閉める	使用する	0分	0:00~0:20 (1分間隔)	2:00~12:00 (30分間隔)	12時間
	煮豆	あり	閉める	使用する	10分	0:05~0:20 (1分間隔)	2:00~12:00 (30分間隔)	不可
	ローストビーフ	あり	閉める	使用する	3分	0:01~0:08 (1分間隔)	不可	不可
	イワシ煮	あり	閉める	使用する	15分	0:10~0:25 (1分間隔)	不可	不可
メニューB	肉じゃが	あり	閉める	使用する	25分	0:20~0:35 (1分間隔)	2:00~12:00 (30分間隔)	2時間
	角煮	あり	閉める	使用する	20分	0:15~0:30 (1分間隔)	2:00~12:00 (30分間隔)	2時間
	ブリ大根	あり	閉める	使用する	10分	0:05~0:20 (1分間隔)	不可	不可
	カレー	あり	閉める	使用する	15分	0:10~0:25 (1分間隔)	2:00~12:00 (30分間隔)	6時間
メニューC	ポトフ	あり	閉める	使用する	4分	0:02~0:15 (1分間隔)	2:00~12:00 (30分間隔)	2時間
	無水調理	あり	閉める	使用する	5分	0:00~0:50 (1分間隔)	2:00~12:00 (30分間隔)	2時間
	スロー調理	なし	閉める	使用しない	4時間	4:00~10:00 (30分間隔)	設定時間+1:00~ 設定時間+12:00 (30分間隔)	不可
	温めなおし *1	なし	開/閉 *2	使用しない	設定できない *1		不可	不可
加圧調理	あり	閉める	使用する	1分	0:00~2:00 (1分or10分間隔) *3	設定時間+1:30~ 設定時間+12:00 (30分間隔)	12時間	
温め(保温)	なし	開/閉	使用しない	2時間	0:10~24:00 (10分間隔)	不可	不可 *5	

※1) 温めなおしは、およそ80℃に達すると調理が終了します。

※2) フタを開けた状態、閉めた状態の両方で調理可能ですが、閉めた方が早く調理が終了します。

※3) 0:00~1:00は1分刻み、1:00~2:00は10分刻みの設定が可能です。

※4) 調理終了後の保温は、約70℃で保温されます。

※5) 温め(保温)メニューの為、調理終了後に保温しません。

注意事項

■ スロー調理・温めなおし・温めは圧力おもりを使用しません。(圧力をかけない調理なので、密閉しないため)

■ 白米や圧力調理0分設定で調理する場合、圧力ピンが上がる前に調理完成となる場合がありますが、故障ではありません。

■ 調理内容によっては、使用される季節や室内温度・水温によって圧力の変化に影響がでることがあります。

それによって少し焦げが発生したり、多少柔らかく仕上がることがあります。お好みで水量を調整してください。

各メニューの初期設定時間は設定可能時間の範囲で変更できます。

また設定時間変更後、調理スタートをおこなうとその時間をメモリーし、次回からもその時間で表示されます。

メモリーされた時間をリセットする場合は、とりけしボタンを5秒間長押しすると初期設定時間に戻ります。

使用方法【基本の使い方】

※9ページの『使用前に準備すること』を確認してください。

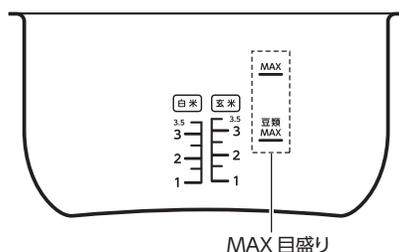
1. 内なべに材料を入れ本体にセットする

レシピなどを参考にして内なべに材料を入れ、本体にセットしてください。

材料・調味液はMAX線以上に入れないでください。

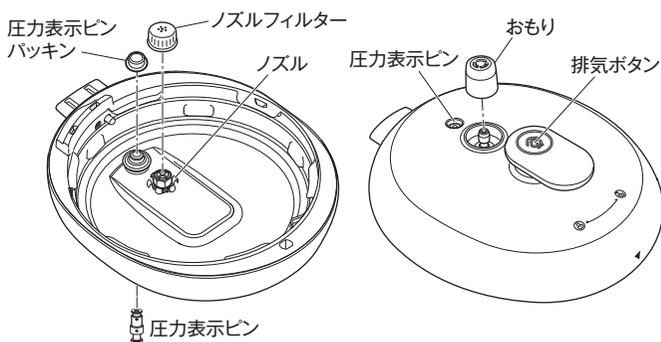
豆類・麺類など調理で分量が増えるものは豆類MAX線以上に入れないでください。豆の皮や麺などがノズルに入り込んで圧力調整がうまくできなくなる可能性があります。

内なべの周囲の水分や異物を取り除き、内なべと本体の間に食材などが無いことを確認してから、内なべを本体にセットしてください。



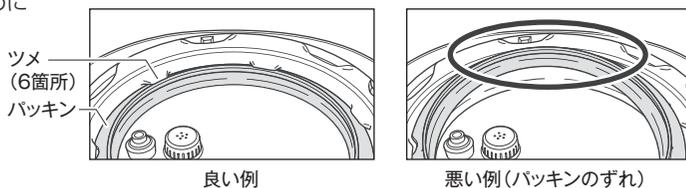
2. フタに各部品を取り付ける

圧力表示ピン・圧力表示ピンパッキン・ノズルフィルター・おもりを正しく取り付けて、圧力表示ピン・排気ボタンがスムーズに動くことを確認してください。



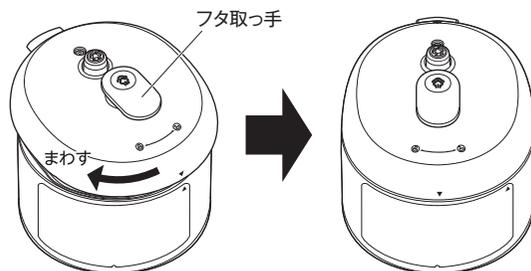
フタパッキンをフタ側ツメ(6カ所)にはめ込むように正しく取り付けてください。

フタパッキンのへこみ部分や表裏をあわせることはなく、どの向きでも取り付けができます。



3. フタを閉める

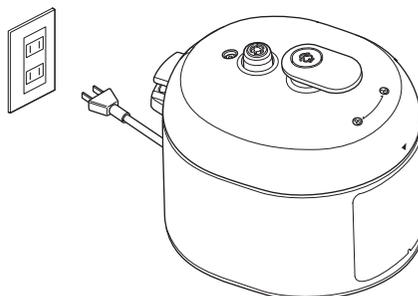
フタ正面の▼印と本体(操作部右上)の▲印が合うようにまっすぐセットして、本体が動かないように手を添えながら、フタ取っ手をもち時計回りにしっかり止まるまでまわします。



4. 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込むとピッと鳴り時間表示部に0:00と表示され、調理スタートランプと白米ランプが点滅します。

フタが完全に閉まっていないと、時間表示部にOPENと表示され操作ができません。



5. 料理に合わせてメニューを選択する

自動メニュー、圧力調理、温めの中から好みの調理方法を選びます。

6. 調理スタートボタンをタッチして調理を開始する

調理スタートボタンをタッチすると、メロディーがながれ調理が開始し、調理中は調理中ランプが点灯します。
時間表示は圧力が一定にあがるまで時間は表示されません。



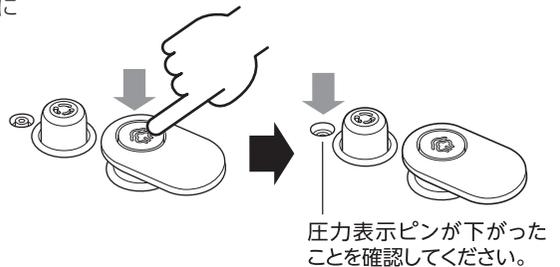
7. 設定時間終了

設定時間が終了するとメロディーがながれ、時間表示が0Hになり、自動で保温を開始します。(温めランプ点灯)
この段階では、フタを開けることができません。

※メニューによっては、圧力調理終了後自動で保温しないメニューがあります。10ページの【設定時間や調理の目安】の内容を参考にしてください。

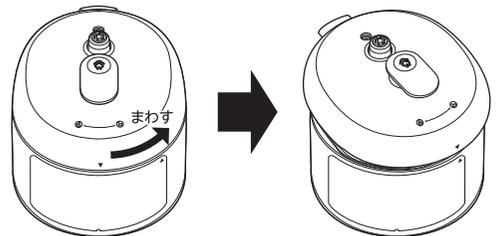
8. 圧力表示ピン・残圧力の確認

調理終了後、圧力が下がるまで待ち(圧力表示ピンが下がったのを確認) 排気ボタンを押して蒸気を出しきり内なべに残った圧力を排出します。



9. フタを開ける

- フタを回して開けるときに重たく感じる場合、無理に開けずしばらく置か排気ボタンを再度押し蒸気がでないことを確認してください。
- フタ取っ手を少し動かし、いったん止めたときにフタのすき間から蒸気が出ていないことを確認してからフタを開けてください。



10. 調理を終了する

とりけしボタンをタッチし、電源プラグをコンセントから外してください。

11. お手入れをする

※27ページ【お手入れ方法】を参照ください。

⚠ 注意

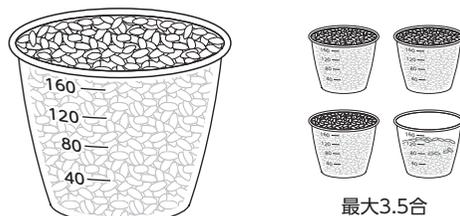
- 調理中は本体を動かしたり、圧力表示ピンやおもりに触れたりしないでください。
蒸気や調理物が噴き出しやけどなどのおそれがあります。

使用方法 自動メニュー【白米】

※9ページの『使用前に準備すること』を確認してください。

1. お米を量って洗米する

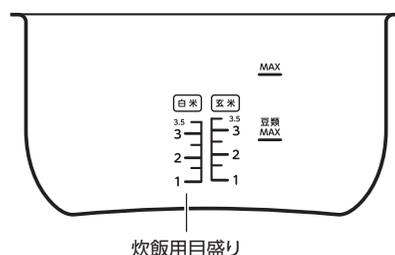
付属の計量カップ(約180ml)を使いすりきりでお米を量ります。ボウルなど別容器に移し、たっぷりの水で手早くかき混ぜるように洗います。



2. お米を内なべに戻し水加減をする

洗米したあと内なべに戻し、水平な場所で内なべの目盛りに合わせて水を調節してください。

※お湯は入れないでください。



3. 本体を準備する

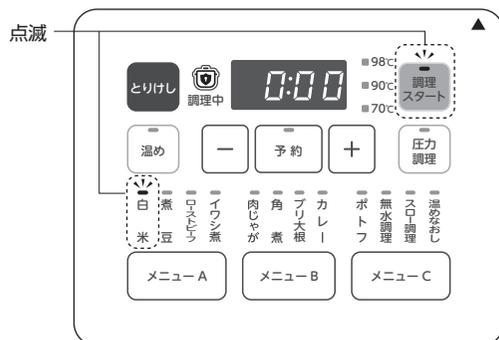
11ページの使用方法【基本】1～4の手順で準備をしてください。

4. メニューAボタンをタッチし、白米を選択する

白米ランプ・調理スタートボタンが点滅します。

メニューボタンはタッチするごとに変わります。

白米 → 煮豆 → ローストビーフ → イワシ煮



5. 調理をスタートする

調理スタートボタンをタッチするとメロディーがながれ調理を開始します。

点滅していたランプ・調理中ランプが点灯します。



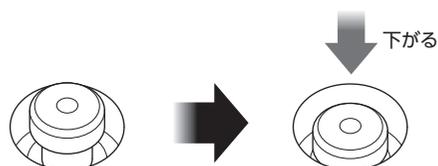
6. 圧力調理時間終了

圧力調理が終了すると、メロディーがながれ時間表示が0Hになり、自動で保温を開始します。(温めランプ点灯)

※白米など、圧力調理時間0分で設定した場合、圧力表示ピンがあがる前に圧力調理時間終了となる場合がありますが、故障ではありません。

7. 圧力表示ピン・残圧力の確認

調理終了後、圧力が下がるまで待ち(圧力表示ピンが下がったのを確認)排気ボタンを押して蒸気を出しきり内なべに残った圧力を排出します。

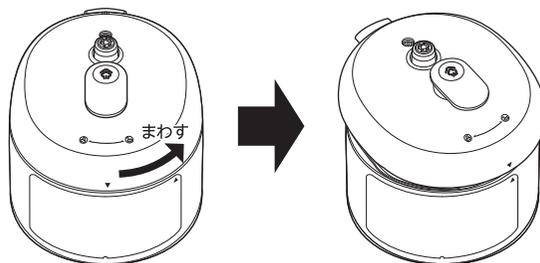


8. フタを開ける

フタを回して開けるときに重たく感じる場合は、無理に開けずしばらく置か、排気ボタンを再度押し蒸気がでないことを確認した後フタを開けてください。

炊きあがったごはんはすぐによくほぐし、余分な水分を飛ばしてください。

なるべく保温はせず、早めにお召し上がりください。
(変色やにおい、露の原因となります)



9. 調理を終了する

とりけしボタンをタッチし、電源プラグをコンセントから外してください。



10. お手入れをする

※27ページ【お手入れ方法】を参照ください。

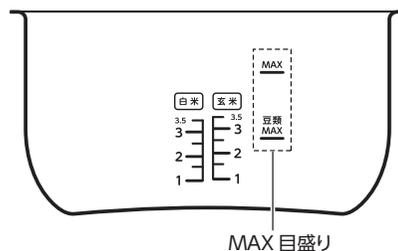
⚠ 注意

- 調理中は本体を動かしたり、圧力表示ピンやおもりに触れたりしないでください。
蒸気や調理物が噴き出しやけどなどのおそれがあります。

※9ページの『使用前に準備すること』を確認してください。

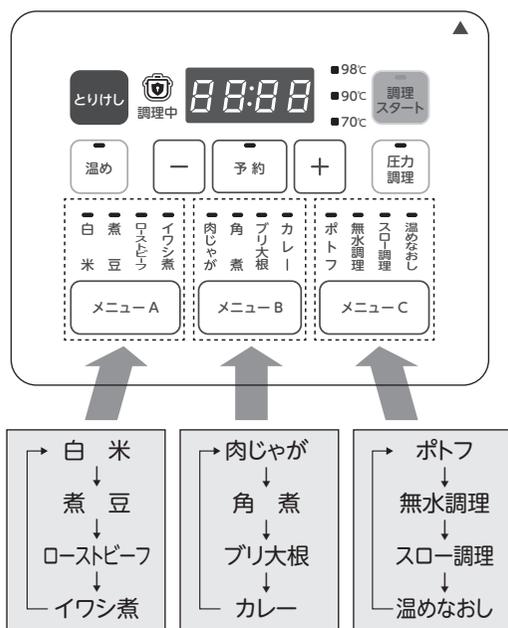
1. 内なべに材料を入れて、本体にセットする

11ページの**使用方法【基本】**1～4の手順で準備をしてください。



2. メニューボタンを選ぶ

各メニューボタンをタッチするとメニューランプが順に変わり、選択したメニュー・調理スタートボタンが点滅します。



3. 調理をスタートする

調理スタートボタンをタッチするとメロディーがながれ調理を開始します。

点滅していたランプ・調理中ランプが点灯します。

時間表示は圧力が一定にあがるまで表示されません。

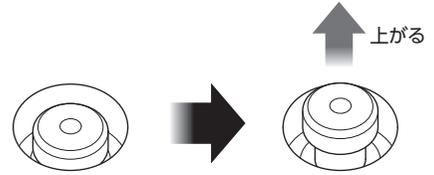
※“スロー調理”は圧力をかけずに調理しますので、調理開始後終了までの残時間が表示されます。

※“温めなおし”は調理温度が約80度まであがると調理が終了しますので、時間は表示されません。



4. 調理中

圧力があがり始めると圧力表示ピンが上がります。
 圧力が一定にあがるまでは圧力表示ピンから蒸気や水滴が漏れる場合があります。
 圧力が安定すると時間表示が表示され、圧力調理が開始します。

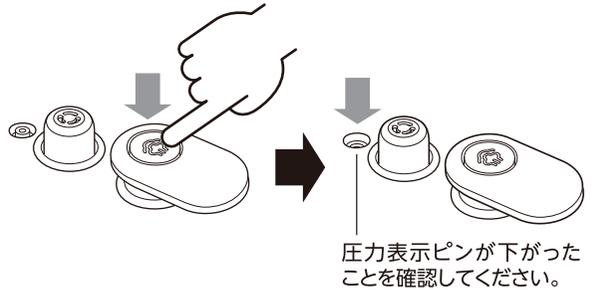


5. 圧力調理時間終了

設定時間が0:00になるとメロディーがながれ、時間表示が0Hになり自動で保温を開始します。(温めランプ点灯)
 ※メニューによっては圧力調理終了後保温しないメニューがあります。10ページ、【設定時間や調理の目安】の内容を参考にしてください。

6. 圧力表示ピン・残圧の確認

圧力調理終了後、圧力が下がるまで待ち(圧力表示ピンが下がったのを確認)排気ボタンを押して蒸気を出しきり内なべに残った圧力を排出します。



7. フタを開ける

フタを回して開けるときに重たく感じる場合、無理に開けずしばらく置かか、排気ボタンを再度押し蒸気がでないことを確認した後フタを開けてください。

8. 調理を終了する

とりけしボタンをタッチし、電源プラグをコンセントから外してください。



9. お手入れをする

※27ページ【お手入れ方法】を参照ください。

⚠ 注意

- 調理中は本体を動かしたり、圧力表示ピンやおもりに触れたりしないでください。
 蒸気や調理物が噴き出しやけどなどのおそれがあります。

使用方法 自動メニュー【スロー調理】

圧力をかけずに沸騰直前の温度でゆっくり時間をかけて調理します。具材が煮崩れせず味がよくしみ込みます。
※9ページの『使用前に準備すること』を確認してください。

1. 内なべに材料を入れて、本体にセットする

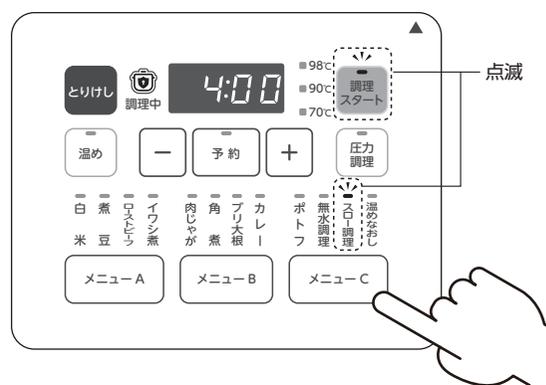
11ページの使用方法【基本】1～4の手順で準備をしてください。

2. フタからおもりを外す

圧力のかからない調理方法です。
必ずおもりを外してご使用ください。

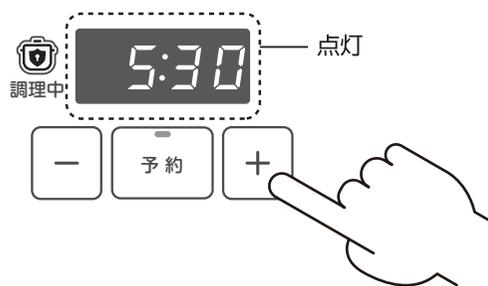
3. メニューCボタンをタッチして “スロー調理”を選択する

スロー調理ランプ・調理スタートボタンが点滅します。



4. 調理時間を調節する

[-] [+] ボタンで加熱をする時間を設定する。
設定時間は4:00～10:00まで30分刻みで調節できます。



5. 調理をスタートする

調理スタートボタンをタッチするとメロディーがながれ調理を開始します。
スロー調理は約3時間かけてゆっくりと90℃付近まで温度を上げ、その後沸騰直前(95℃付近)の温度を維持させながらじっくりと調理をおこないます。

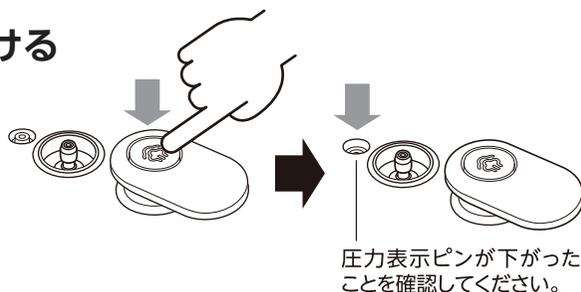


6. 調理時間終了

調理が終了するとメロディーがながれ加熱が終了します。
自動で保温には変わりません。

7. 排気ボタンをおしてからフタを開ける

スロー調理メニューは圧力のかからない調理ですが、
フタを閉めた状態での調理では蒸気により内部の圧力
が上がっている場合があります。
必ず排気ボタンを押して圧力表示ピンが下がっている
ことを確認してからフタを開けてください。



8. 調理を終了する

とりけしボタンをタッチし、電源プラグをコンセントから
外してください。



9. お手入れをする

※27ページ【お手入れ方法】を参照ください。

⚠ 注意

- 調理中は本体を動かしたり、圧力表示ピンに
触れたりしないでください。
蒸気や調理物が噴き出しやけどなどのおそれがあります。

使用方法 自動メニュー【温めなおし】

料理の温めなおしや、調理後の仕上げに。

※9ページの『使用前に準備すること』を確認してください。

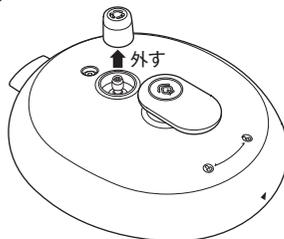
1. 内なべに材料を入れて、本体にセットする

11ページの使用方法【基本】1～4の手順で準備をしてください。

2. フタからおもりを外す

圧力のかからない調理方法です。

必ずおもりを外してご使用ください。



3. メニューCボタンをタッチして温めなおしを選択する

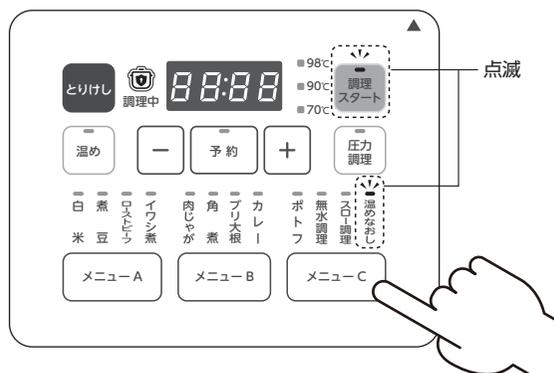
温めなおしランプ・調理スタートボタンが点滅します。

4. 調理をスタートする

調理スタートボタンをタッチするとメロディーがながれ調理を開始します。

温めなおしは調理温度が約80度まであがると調理が終了しますので、時間は表示されません。

フタは開けた状態でも調理可能ですが、閉めた方が早く出来上がります。



5. 調理時間終了

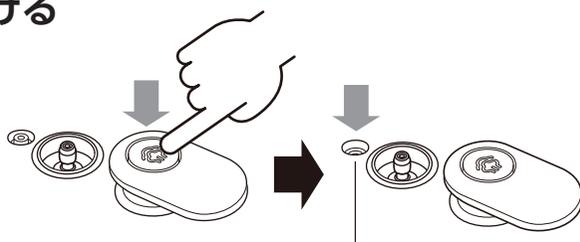
調理が終了するとメロディーがながれ加熱が終了します。

自動で保温には変わりません。

6. 排気ボタンをおしてからフタを開ける

温めなおしメニューは圧力のかからない調理ですが、フタを閉めた状態での調理では蒸気により内部の圧力が上がっている場合があります。

必ず排気ボタンを押して圧力表示ピンが下がっていることを確認してからフタを開けてください。



圧力表示ピンが下がったことを確認してください。

7. 調理を終了する

とりけしボタンをタッチし、電源プラグをコンセントから外してください。

8. お手入れをする

※27ページ【お手入れ方法】を参照ください。

⚠ 注意

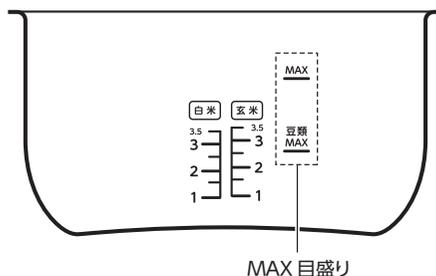
- 調理中は本体を動かしたり、圧力表示ピンに触れたりしないでください。蒸気や調理物が噴き出しやけどなどのおそれがあります。

使用方法 【圧力調理】

好みの時間設定で圧力調理をすることができます。
※9ページの『使用前に準備すること』を確認してください。

1. 内なべに材料を入れて、本体にセットする

11ページの使用方法【基本】1～4の手順で準備をしてください。

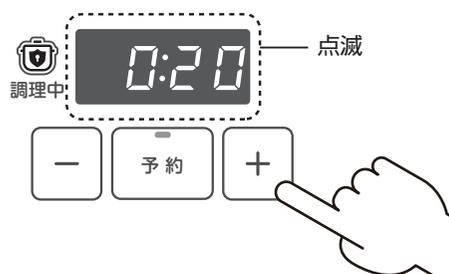
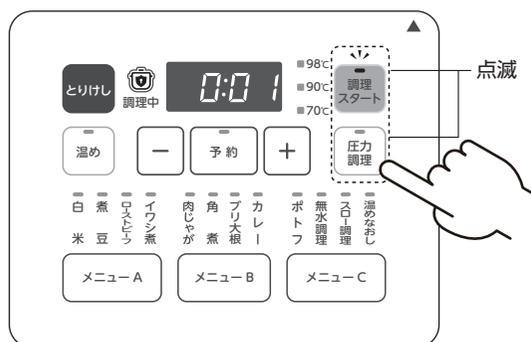


2. 圧力調理ボタンをタッチする

圧力調理ボタン・調理スタートボタンが点滅し、
時間表示0:01が表示されます。

3. 加圧時間を調節する

[-] [+] ボタンで加圧をする時間を設定する。
設定時間0:00～1:00までは1分刻み、1:00～2:00は
10分刻みで調節できます。
加圧時間は最大2時間まで設定できます。
加圧時間とは調理全体にかかる時間ではなく加圧中の時間です。



4. 調理をスタートする

調理スタートボタンをタッチするとメロディーがながれ調理を
開始します。

点滅していたランプ・調理中ランプが点灯します。
時間表示は圧力が一定にあがるまで表示されません。

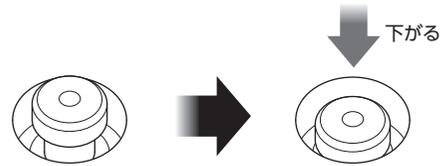


5. 圧力調理時間終了

設定時間が0:00になるとメロディーがながれ時間表示が0Hになり自動で保温に変わります。(温めランプ点灯)
圧力調理の場合、保温時間最大12時間。

6. 圧力表示ピン・残圧力の確認

調理終了後、圧力が下がるまで待ち(圧力表示ピンが下がったのを確認)排気ボタンを押して蒸気を出しきり内なべに残った圧力を排出します。



7. フタを開ける

フタを回して開けるときに重たく感じる場合、無理に開けずしばらく置か排気ボタンを再度押し蒸気がでないことを確認した後、フタを開けてください。

8. 調理を終了する

とりけしボタンをタッチし、電源プラグをコンセントから外してください。



9. お手入れをする

※27ページ【お手入れ方法】を参照ください。

⚠ 注意

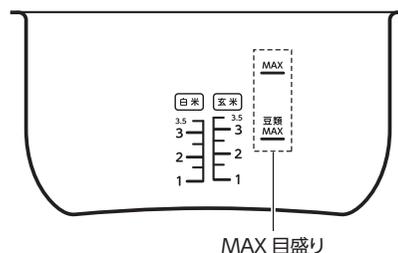
- 調理中は本体を動かしたり、圧力表示ピンやおもりに触れたりしないでください。
蒸気や調理物が噴き出しやけどなどのおそれがあります。

使用方法【温め調理】

圧力をかけずに選択した温め温度にあわせて温めをおこないます。
※9ページの『使用前に準備すること』を確認してください。

1. 内なべに材料を入れて、本体にセットする

11ページの使用方法【基本】1～4の手順で準備をしてください。



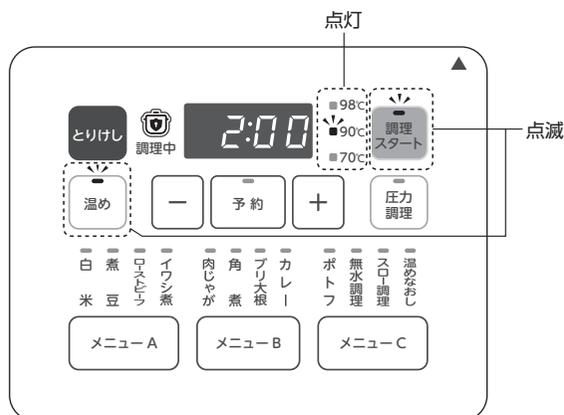
2. フタからおもりを外す

圧力のかからない調理方法です。
必ずおもりを外してご使用ください。

3. 温めボタンをタッチする

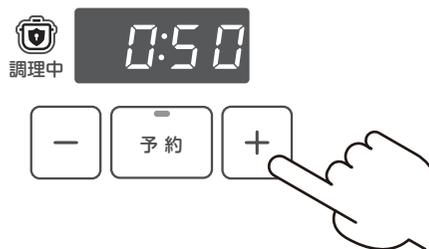
温めボタンをタッチすると温めランプと調理スタートボタンが点滅し温度表示ランプが点灯します。
タッチするごとに温め温度表示が下図のように順に変わります。

90℃ → 70℃ → 98℃



4. 温め時間を調節する

[-] [+] ボタンで温めをする時間を設定する。
設定時間は0:10～24:00までまで10分刻みで調節できます。
温め時間は最大24時間まで設定できます。



5. 調理をスタートする

調理スタートボタンをタッチするとメロディーがながれ調理を開始します。
点滅していたランプ・調理中ランプが点灯します。
時間表示は圧力が一定にあがるまで表示されません。

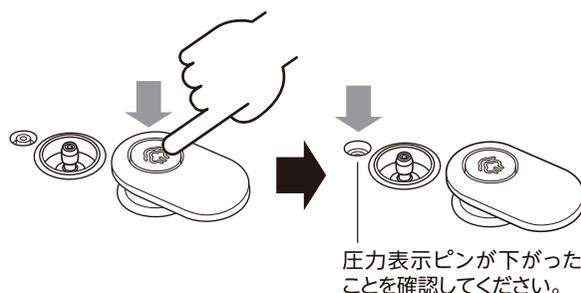


6. 設定時間終了

設定時間が0:00になるとメロディーがながれ調理が終了します。
温め調理の場合、自動で保温には変わりません。

7. 圧力表示ピン・残圧力の確認

温めの調理では100℃以下で調理をするため加圧はされませんが、蒸気により内圧が上がっている場合があります。フタを開ける際は必ず圧力表示ピンが下がるのを確認し、排気ボタンを押して蒸気を出しきってください。



8. フタを開ける

フタを回して開けるときに重たく感じる場合、無理に開けずしばらく置か排気ボタンを再度押し蒸気がでないことを確認した後、フタを開けてください。

9. 調理を終了する

とりけしボタンをタッチし、電源プラグをコンセントから外してください。



10. お手入れをする

※27ページ【お手入れ方法】を参照ください。

⚠️ 注意

- 調理中は本体を動かしたり、圧力表示ピンに触れたりしないでください。
蒸気や調理物が噴き出しやけどなどのおそれがあります。

使用方法 自動保温について

選択したメニュー調理が終了すると、自動で保温に変わります。

※自動で保温に変わるメニューと保温しないメニューがあります。

自動保温ができるメニューは10ページの【設定時間や調理の目安】の内容を参考にしてください。

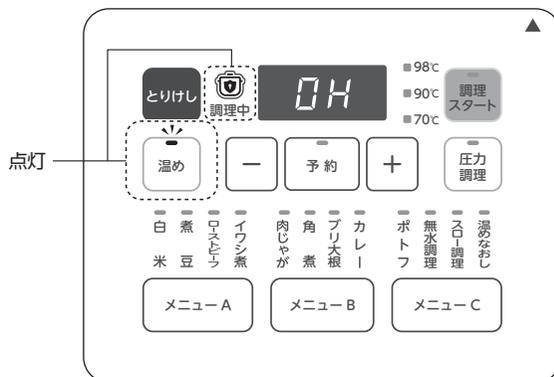
調理が終了すると、温めランプが点灯し保温が開始

時間表示には“0Hが表示され1時間経過ごとに下記のように表示が順に変わります。

※保温可能時間はメニューによって異なります。

※保温温度は約70℃です。

0H → 1H → 2H → 3H → …最大12H



保温を途中で終了する

保温を終了するときには、とりけしボタンをタッチしてください。

調理開始前の状態に戻ります。

フタを開ける際は必ず圧力表示ピンが下がっているのを確認し、排気ボタンを押して蒸気を出しきってください。



保温時間が終了

最大保温時間に到達すると、保温が終了し調理開始前の状態に戻ります。

使用がおわったら、とりけしボタンをタッチし電源プラグをコンセントから外してください。

お手入れをする

※27ページ【お手入れ方法】を参照ください。

使用方法【予約の設定】

調理終了までの時間を設定することができます。

1. 内なべに材料を入れて、本体にセットする

11ページの使用方法【基本】1～4の手順で準備をしてください。

2. 調理メニューを選ぶ

お好みの調理方法を選びます。

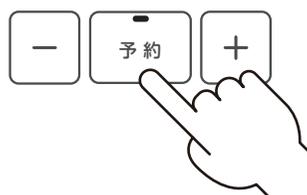
※自動メニューのローストビーフ・イワシ煮・ブリ大根・温めなおし、温め調理は、予約の設定ができません。

3. 予約時間を設定する

予約 ボタンをタッチしてから、**-** **+** ボタンで時間を設定してください。

予約ができる時間はメニューによって異なりますが、30分刻みで調節できます。

詳しくは10ページの【設定時間や調理の目安】の内容を参考にしてください。

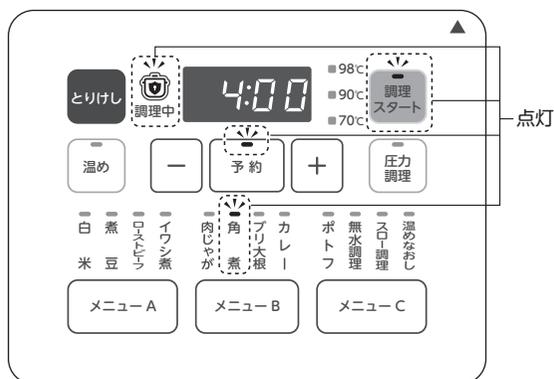


《ポイント》

予約時間は、調理が終了するまでの時間を設定します。

例) 4時間後に角煮を完成させる場合

- ① **メニューB** ボタンをタッチして角煮を選びます。
- ② **予約** ボタンをタッチしてから、**-** **+** ボタンで4:00を設定します。
- ③ **調理スタート** ボタンをタッチする。時間表示部に調理終了までの残時間が表示されます。
- ④ **調理スタート** ボタンをタッチした4時間後にすべての調理が終了します。
- ⑤ 終了後、最大2時間保温可能です。



4. 予約調理を開始する

調理スタートボタンをタッチするとメロディーがながれ、予約調理が設定されます。

時間表示は調理が終了するまでの時間が表示されます。

5. 調理終了

設定時間が0:00になるとメロディーがながれ自動で温め(保温)に変わります。

圧力調理の場合、保温時間最大12時間

6. 圧力表示ピン・残圧力の確認

調理終了後、圧力が下がるまで待ち(圧力表示ピンが下がったのを確認)排気ボタンを押して蒸気を出しきり内なべに残った圧力を排出します。

7. フタを開ける

フタを回して開けるときに重たく感じる場合、無理に開けずしばらく置か排気ボタンを再度押し蒸気がでないことを確認した後、フタを開けてください。

8. 調理を終了する

とりけしボタンをタッチし、電源プラグをコンセントから外してください。

9. お手入れをする

※27ページ【お手入れ方法】を参照ください。

注意

- 調理中は本体を動かしたり、圧力表示ピンやおもりに触れたりしないでください。
蒸気や調理物が噴き出しやけどなどのおそれがあります。
- 調理メニューや室内温度、水温等の状況により、予約設定時間より早めに圧力表示ピンが下がる場合がありますが、これは故障ではありません。調理終了メロディーのあと、手順にそってフタを開けてください。

お手入れ方法

警告

必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めてからお手入れをしてください。
汚れたままで使用を続けると、圧力鍋としての機能が発揮できなくなるだけでなく、故障・不衛生の原因になりますので、ご使用の度にお手入れをしてください。

注意

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| ●ベンジン、シンナー、アルコール、みがき粉などは使わない | ●色合いや変色の原因になります。 |
| ●台所用中性洗剤を使用する場合は薄めて使う | ●変色や故障の原因になります。 |
| ●金属たわし、ナイロンたわしなどは使わない | ●製品の表面を傷つけるおそれがあります。 |
| ●使用後は必ずお手入れをする | ●雑菌繁殖の原因になります。 |
| ●食器洗い乾燥機や食器乾燥機は使わないでください。 | ●部品の変形や湖沼の原因になります。 |
| ●本体を丸洗いしたり、水に浸したり、水をかけたりしないでください。 | ●感電やショートによる火災の原因となります。 |

ご使用ごとのお手入れ

■ おもり・ノズル・ノズルフィルター・ 圧力表示ピン・圧力表示ピンパッキン

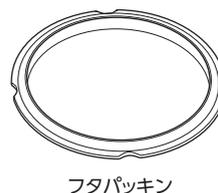
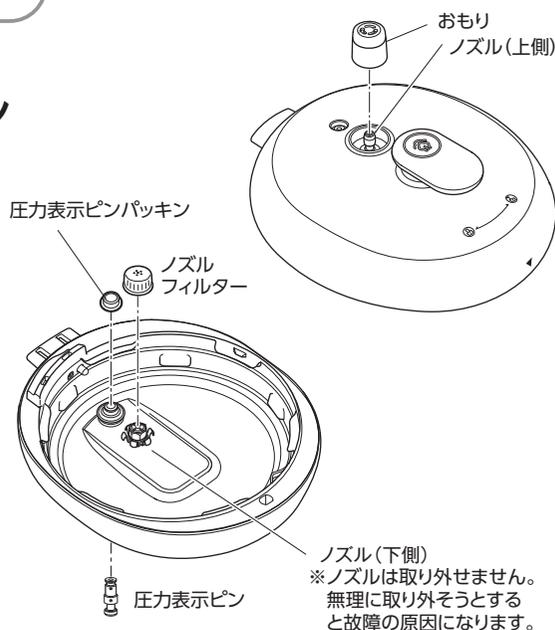
フタから取り外し、材料や調理カスなどが詰まっていないか確認してください。
つまようじなどで汚れや異物、詰まりを取り除いてください。

■ 内なべ・しゃもじ・おたま

食器用洗剤できれいに洗い、よくすすいでから乾いた布で拭いてください。
スポンジなどやわらかいもので洗ってください。
※内なべを洗いおけ代わりに使わないでください。
フッ素加工が剥がれる原因となります。

■ フタ・フタパッキン

フタパッキンはフタから取り外してお湯につけたあと、洗ってください。
パッキンがいたむ原因となりますので、無理に引っ張ったり鋭利なもので突いたりしないでください。
フタを洗う際、内部に水が入りやすいので洗ったあとは、よく水をきりしっかり乾かしてください。

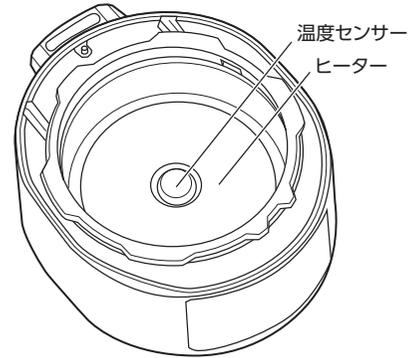


汚れが気になったときのお手入れ

■本体

柔らかい布で汚れをふき取ります。
汚れがひどいときは、ぬるま湯または薄めた食器用洗剤を
柔らかい布に含ませ拭いた後、洗剤が残らないようにかたく
絞った布などで水拭きしてください。

本体内部は、固く絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。
温度センサーやヒーター部分が汚れていたり異物がはさまって
いると誤動作の原因となり、うまく調理ができなくなります。



保管方法

長期間ご使用にならない場合は、湿気が少なく直射日光の
当たらないところに保管してください。

- 各部お手入れ後、よく乾燥させてください。
- 本体にポリ袋をかぶせ、梱包箱に入れてください。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

症状	お調べいただくこと	対処方法
操作ボタンをタッチしても作動しない	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください
調理がうまくできない	フタは閉まっていますか？	フタを確実に閉めてください
	水や調味液、材料の分量はあってますか？	付属のレシピ集などを参考に、量を加減してください
	調理設定はありますか？	付属のレシピ集などを参考に、調理設定してください
	ヒーターや温度センサーに異物が付いていたり汚れてませんか？	異物や汚れを取り除いてください
	おもりは正しく取り付けられていますか？	おもりに異物が付いていないかを確認し正しい位置にしっかりと取り付けてください
	圧力表示ピンは正しく取り付けられていますか？	圧力表示ピンや圧力表示ピンパッキンに異物が付いていないかを確認し、正しい位置にしっかりと取り付けてください
ごはんがうまく炊飯できない	米や水の量はありますか？	付属の計量カップや、内なべ目盛りを参考にお好みに合わせて加減してください
調理中・保温中に音がする	カチッと音がする	ヒーター制御音です。異常ではありません
	水がはじけるような音がする	内なべの外側やヒーターについた水分が蒸発する音です。使用前にしっかりとふき取ってから調理してください
	上記以外の異常音がする	使用を停止し電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買上の販売店までご相談ください
蒸気が漏れる	フタや内なべ・フタパッキン・圧力表示ピンに異物が付いていませんか？	異物を取り除き、正しく確実に取り付けてください
	フタパッキンは正しく取り付けられていますか？	フタパッキンを正しく確実に取り付けてください
	フタパッキンが変形したり、破損してませんか？	使用を停止し電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買上の販売店までご相談ください
煮汁や蒸気が噴き出す	おもりは正しく取り付けられていますか？	おもりに異物が付いていないかを確認し正しい位置にしっかりと取り付けてください
	材料や水量が多すぎませんか？	付属のレシピ集などを参考に量を調整し、内なべの目盛りMAX以上入れないでください
	調理中や内部に圧力が残っているときに、おもりを外していませんか？	調理中は絶対におもりを外さないでください。けがややけどの原因となります。内部に圧力が残っているときは、排気ボタンを押し圧力を逃がしてください
	炊飯時、洗米が十分でしたか？	ぬかが多く残っていると噴きこぼれの原因となります。十分に洗米してください

故障かなと思ったら

症状	お問い合わせいただくこと	対処方法
異臭がする	プラスチックや樹脂のにおいがする	ご使用にともない臭いは少なくなります
	空焚きしていませんか？	ご使用時は必ず内なべに調理物を入れてください
保温にならない	長時間保温をつづけていませんか？	保温時間が設定時間を過ぎると、自動で通電が切れます。保温時間は調理内容によって違います。10ページの【設定時間や調理の目安】をご確認ください
予約ができない	予約ができないメニューを選んでいませんか？	自動メニューのローストビーフやイワシ煮・ブリ大根・温めなおしや温めメニューは予約設定ができません
時間表示が出ない・変わらない	調理をスタートした直後ではありませんか？	圧力調理開始後、内部の圧力が上がるまでお待ちください
フタが開かない	圧力表示ピンは下がっていますか？	圧力表示ピンが上がっている場合、内部に圧力がかった状態となりフタを開けることができません。圧力表示ピンが下がるまでフタは開けないでください
		圧力表示ピンが下がっている場合、内部に圧力が残っている可能性があります。排気ボタンを押して十分に蒸気を出し切ってからもう一度フタを開けてください

■エラー表示について

画面表示	考えられる原因	症状 → 処置
E1	温度センサーの断線です	加熱が停止し、ブザーが約25秒鳴る →電源プラグをコンセントから抜き、お買上の販売店までご連絡ください
E2	温度センサーのショートです	加熱が停止し、ブザーが鳴り続ける →電源プラグをコンセントから抜き、お買上の販売店までご連絡ください
E8	圧力スイッチ不具合	ブザーが約25秒鳴る →電源プラグをコンセントから抜き、お買上の販売店までご連絡ください

※エラー表示がでた時は、加圧状態になっている場合があります。あわててフタを開けようとはせず、圧力表示ピンの状態を確認してください。圧力表示ピンが上がっている場合は、排気ボタンを押して内部圧力を下げてからフタを開けてください。

仕 様

商品名	電気圧力鍋
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	600W
呼び容量	2.5L
調理容量	1.6L
炊飯容量 白米	3.5合
玄米	3.5合
本体サイズ	238(W)×306(H)×247(D) mm
本体質量	約3.9kg
電源コード	約1.0m
使用最高圧力	70kPaゲージ圧
安全装置	温度ヒューズ
付属品	計量カップ、しゃもじ、おたま、レシピブック

※商品の仕様は予告なく変更する場合があります

PSCマーク、SGマークを取得しています。



PSCマーク

「消費生活用製品安全法」の家庭用の圧力なべおよび圧力がまの安全基準に適合していることを表示します。



SGマーク

製品安全協会が定めたSG基準に合格したことを示し、万一製品の欠陥による人身事故が生じた場合、賠償措置がとられます。

対人賠償責任保険付
製品安全協会

アフターサービスについて

- ①保証書は必ず「お買い上げ年月日」と「販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、お買い上げの販売店からお受け取りください。この取扱説明書をお読みになった後は、大切に保管してください。
- ②保証期間中に故障して修理を依頼される場合は、お買い上げの販売店まで保証書を添えて商品をご持参ください。
- ③保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって、機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- ④この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤製品に異常がある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。
- ⑥アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店、または当社ご相談窓口にお問い合わせください。

保証書

商品名：電気圧力鍋		品番：SPC201WH	
お客様様	お名前	お買い上げ日	年 月 日
	ご住所 〒	取扱販売店	住所
	電話番号		電話番号
保証期間／お買い上げ日より 本体1年間 消耗品及び付属品は除く			

持込修理

本書は、保証期間内に本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

無料修理規定

- 1.取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料修理いたします。
- 2.保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。
- 3.ご転居の場合、事前にお買い上げ販売店に、ご相談ください。
- 4.ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げ販売店に、修理依頼ができない場合は当社ご相談窓口へご相談ください。
- 5.保証期間中でも、次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取扱過誤、落下及び輸送上の故障又は損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 接続する他の機器の異常により生じる故障及び損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ヘ) 樹脂表面（フッ素樹脂加工も含む）及びメッキや塗装の磨耗や打痕による損傷。
 - (ト) 保証書のご提出がない場合。
 - (チ) 保証書のご購入年月日、お客様名、販売店欄の記入または押印がない場合。

6.保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

7.保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

*この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社ご相談窓口にお問い合わせください。

長年ご使用の製品の点検を!

ご使用の際
このようなことは
ありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- 焦げくさい臭いがした煙が出る。
- 本体が変形したり異常に熱い。
- その他異常や故障がある

ご使用
中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを必ず抜いて販売店にご相談ください。

製造元 **株式会社シー・ネット**
大阪市中央区船越町1-6-2 アズタビル4階

お客様相談窓口



0570-040-888